

高すぎる国保料 引き下げ条例を提出

4人世帯で2万5千円引き下げ提案

■平成27年度の国民健康保険料は、4人世帯（給与収入300万円、40歳夫婦、子2人）で37万6020円にもなり、収入の12・5%を占め、「高くして払えない!」「引き下げて!」との悲鳴の声が出されています。

■保険料が高すぎて払えないという声も多く、国保の短期証発行は1164世帯、資格証交付は215世帯（15年4月30日現在）あり、正規の保険証が使えない世帯が、20世帯に1世帯にもなっています。

一方で、国保会計は、平成21年度から6年連続の黒字で、平成26年度も収支差引2億6923万円（運協時決算見込）になっています。

■条例案では、平成27年度保険料の医療分で、均等割を2万5200円から2万0200円に、平等割を2万7400円から2万2400円に、それぞれ5000円の引き下げとされています。これにより、夫婦と子2人の4人世帯では、現行より2万5000円の引き下げとなります。

基金残高は6年で6倍、10億円を超える

■宇治市は、毎年黒字の半分を基金に積み立てて、26年度末で、基金残高は10億8千万円、6年で6倍になっています。

「引き下げ条例」は25日の文教福祉常任委員会で審査されます。



「安保健法の撤回を求める意見書」の提出を求める2つ請願書が市民団体からそれぞれ提出され、24日の総務常任委員会で審査されます。

ぜひ傍聴においでください

一般質問（いずれも10時開会予定）

■6月18日(木)

1番目・山崎たすく議員

- ・市長の政治姿勢(安保健法・原発)について
- ・京都医療少年院跡地利用について
- ・学校施設改善について

3番目・大河直幸議員

- ・中学校給食について
- ・住宅改修助成制度について
- ・水害対策について

■6月19日(金)

3番目・山崎恭一議員

- ・交通バリアフリーについて
- ・水害防止について
- ・徴税について

■6月22日(月)

1番目・水谷修議員

- ・市経済と景気対策について
- ・国保について
- ・農業について

■6月23日(火)

4番目・宮本繁夫議員

- ・市長の政治姿勢（戦争認識ほか）について
- ・小倉駅地下通路のバリアフリーについて
- ・老障介護について

議員団だより6月号外

発行 2015. 6. 16
日本共産党宇治市会議員団
宇治市宇治琵琶33市役所内
電話22-3141 FAX 24-7884

- 6月24日(水) 総務常任委員会
- 25日(木) 文教福祉常任委員会
- 26日(金) 市民環境常任委員会
- 29日(月) 建設水道常任委員会

各常任委員会とも本会議と同時開催です。
インターネット中継されます。

